

# 「21世紀における協同組合の アイデンティティー背景報告」目次

## 序文

- \* マンチェスター大会と本論文の目的
- \* 協同組合原則改訂の意義
- \* 変化の根底をつらぬく哲学的核心
- \* 多様な協同組合の共通の土台
- \* 5つの伝統——①消費者協同組合
  - ②協同組合銀行
  - ③第1次産業の販売協同組合
  - ④サービス協同組合
  - ⑤生産者協同組合
- \* 協同組合の多様な発展にむけて
- \* 各部門は独自の運営原則を
- \* さまざまなグループ間の協同のために

## I. 原則改訂の根本理由

- \* 国際協同組合運動が直面する挑戦課題
- \* 市場経済の世界的拡大
- \* 多国籍企業との競争の中に
- \* 資本主義企業賛美の風潮の中で
- \* 中・東欧における協同組合の再生
- \* アジア、ラテン・アメリカ、アフリカにおける協同組合の発展
- \* 人口の増大と資源・環境の限界
- \* 持続可能なコミュニティの組織
- \* 貧困の軽減と人間的正義の実現
- \* 深刻な対立の克服
- \* 歴史と現代の二つの視点から

## II. 協同組合の定義

### 1. 定義の前半

- \* 最小限の定義と適用可能性
- \* 協同組合の性格規定
  - ①自律性
  - ②「人々の連合体」
  - ③自発的な団結
  - ④共通のニーズの充足
  - ⑤企業の共同所有と民主主義的制御

### 2. 定義の後半

- \* 開かれた連合組織
- \* 協同組合間協同の性格
  - ①地域的、地方的、全国的、国際的協働
  - ②多様な協働形態
    - 経済の活動領域を超えた協働
    - 政府に対する共同の働きかけ
  - ③長期的視野に立った組合員ニーズの実現

## III. 協同組合の価値について

- \* 協同組合の思想性と倫理性
- \* 価値検討の理論的土台

### 1. 基礎となる価値

- ①自助—「人民」としての発達
- ②相互責任—私的結合をこえて
  - 協同組合所有の発展を
- ③平等—人格にもとづく組織
  - 平等な参加にむけた不断の挑戦
- ④公正—とりわけ報酬の分配における

### 2. 活動につらめられるべき価値

- ①正直—公正な取引
  - ②公開—組合内外への情報の開示
  - ③社会的責任—コミュニティづくり
- \* 協同組合における特別の意義

## IV. 協同組合の原則

### 1. 原則の「前書き」について

- \* 人々を力づける「羅針盤」として
- \* 諸原則の相互連関と構成

### 2. 組合員組織の原則

#### 1) 組合員が主権者たる組織

- ①組織を動かすのは組合員
- ②員外利用についての考え方
- ③慎重で効率的な事業運営

#### 2) すべての人に開かれた組織

- ①受入れ能力の範囲内で
- ②自発的な加入
- ③差別の禁止
  - 宗教的差別の禁止
  - 女性の参加の意識的拡大を
  - 社会的差別の克服
  - 不適切な「人種」という概念

- \*教育と民主主義を内包する組織
- \*指導部に求められる組合員を代表する能力
- \*組合員組織のあり方が協同組合のあり方を決める

3. 「民主主義」の原則

- ①組合員が制御する参加型組織
- ②民主主義的管理と制御の方法
- ③参加の促進は指導部の任務である

4. 財務構造

- \*財務における二つの挑戦—資本の調達と公正な報酬
- \*協同組合への投資は組合員の責任
- \*非分割の集団資本の意義
- \*出資に対する利子の取り扱い
- \*組合員主権を後退させてはならない
- \*社会的基準にしたがった公正な労働報酬
- \*剰余の配分—協同組合の発展を第一に

5. 教育

- \*有益な相互教育

6. 協同組合間協同

- \*組合員とコミュニティのために

7. 自律

- \*政府との関係における自律
- \*資本との関係における自律

8. コミュニティ

- \*持続可能な社会の形成にむけて

- \*労働の尊厳のために—労働者協同組合
- \*農民の経済的・社会的武器=農業協同組合
- \*貯蓄と信用の協同組合
- \*20世紀の幕開けと協同のニーズの高まり
- \*誕生から死まで—協同組合の適応能力
- \*グローバルに、あらゆる経済領域へ

協同組合の独自性とはどのようなものか？

- \*市場の中で活動する民主主義組織
- \*組合員自身が資本を形成する
- \*民主主義的構造を持った企業
- \*自らの運命の主人公になっていく場
- \*組合員こそ協同組合経営の主権者である
- \*従業員の特別の責任と公正な処遇
- \*コミュニケーションとしての教育
- \*連携の中で協同は有効な力となる
- \*地域に深く根ざして
- \*これらの諸特性を総合的に備えること
- \*成功の処方箋=民主主義的運営

21世紀についてわれわれは何を知っているか？

1. 世界人口の爆発的増加

- \*人類の存続のための諸事業

2. 多国籍企業の権力の増大

- \*経済的搾取からの防衛のために
- \*国際貿易の拡大と生産者・消費者の力の有効な組織化を

3. 環境破壊と資源枯渇の危機

- \*環境を利用するあり方と意識を変革する

4. コミュニティ内紛争の深刻化

- \*持続可能なコミュニティのための闘い

5. より大きなニーズを抱えた人々の問題

- ①若者たちの仕事と住居、倫理への要求
- ②女性たちのかけがえない役割のために
- ③先住民の公正な配分の回復のために

21世紀における協同組合の任務

- \*協同組合自身が変わらなければならない
- \*理念、目的、原則を明瞭な絵に描く
- \*法制の改革、政府に対する自律と主張
- \*力を集中し国際経済に影響を与えよう
- \*ニーズの充足、そこに協同の未来がある

「協同の夢の実現へ—21世紀の

協同組合運動のための宣言」目次

- \*人々の社会的・経済的ニーズに応じて
- \*より公正な社会をつくる運動の一環として

国際協同組合運動はなぜここまで

重要な存在となったか？

- \*近代産業社会の矛盾のただ中から
- \*消費・生産・貯蓄という基礎から
- \*協同組合運動の先駆=消費協同組合
- \*公正な社会への強力なビジョン